

“ふるさとちば”のための政策推進を

# 茂呂つよし 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 新川との一体的な活用

# 「かわまちづくり計画」に支援要請

# 1日も早く八千代バイパス整備を



予算委員会で質問する茂呂県議

八千代市選出の茂呂剛(もろ・つよし)県議は、新年度当初予算案を審議する2月定例会県議会の予算委員会に登壇し、地元八千代市の道路問題を手始めに、印旛沼の利活用に伴う「かわまちづくり計画」への県の取り組みなどを質問しました。この中で県は、ハード面の整備に合わせ、流域の魅力向上につながるソフト対策も実施していると答弁。また、茂呂県議は小規模事業者向けの経営支援計画の策定状況や、いわゆる発達障害のある子供たちへの支援施策などを幅広く取り上げ、しっかりと地域の声を県政に届けました。

## 水辺拠点と二里塚

茂呂委員 印旛沼流域の活用を推進し、水辺環境の向上を図るため、「印旛沼流域

## 2月県議会予算委員会に登壇

茂呂委員 私の地元八千代市の新川は、市民の憩いの場となっています。市では、総合計画で、新川及びその周辺の一体的な活用をリーディングプロジェクトの一つとして位置付けており、広域の水辺利用が期待されているところですが、今後、八千代市が参画していくことになりませんが、県はどのような支援をしていくのか。

## 河川敷で賑わいを

茂呂委員 私の地元八千代市の新川は、市民の憩いの場となっています。市では、総合計画で、新川及びその周辺の一体的な活用をリーディングプロジェクトの一つとして位置付けており、広域の水辺利用が期待されているところですが、今後、八千代市が参画していくことになりませんが、県はどのような支援をしていくのか。

かわまちづくり計画」を策定し、県や市では水辺拠点や二里塚などの整備を進めています。そこで、「印旛沼流域かわまちづくり計画」において、今年度の取り組み状況はどうか、伺います。

県土整備部長 同計画では、沼へのアクセス向上に資する「水辺拠点」や「二里塚」のハード整備と合わせ、流域の魅力向上につながるソフト施策を実施しているところです。

今年度は、ハード対策として佐倉市のサンセットヒルズ付近など2カ所の「二里塚」で、護岸工事を実施するとともに、ソフト対策として「ユースパーロードレースin八千代」などさまざまなイベントにおいて、沼の魅力情報発信に努めております。

続き「水辺拠点」や「二里塚」の基盤整備を推進するとともに、市町と連携して、本計画のより広域的な施策の展開を図ってまいります。

現在、一例を挙げますと、地元の八千代商工会議所青年部の方々が「川床構想」と題して、河川敷を賑わいのある河川空間として積極的に活用が図れるよう活動しています。

県においては、多方面にわたる市及び関係機関へ支援していただけるよう要望いたします。

## 市内の渋滞緩和を

茂呂委員 八千代市内の渋滞緩和を図るため、国道16号と296号を結ぶ八千代バイパスの整備は急務です。国道296号八千代バイパスの進捗状況はどうか、伺います。

道路整備課長 国道296号八千代バイパスについては、交通混雑の緩和を図るため、八千代市と佐倉市にまたがる5.2キロの整備を進めており、これまでに3.7キロを供用しています。

残る八千代市内1.5キロでは、面積ベースで約9割の用地を取得しており、工事実施に向け、橋梁取り付け部の道路設計や調整池の設計を行っています。

## 石神川の整備

茂呂委員 昨年12月議会で、県道船橋印西線の八千代西高入り口交差点の整備を質問したところ、交差点の改良は、石神川の整備事業と整合を図りながら進めていくとの答弁がありました。石神川流域では、土

地区画整理事業が行われおり、治水事業を進めていく必要があります。そこで、石神川の整備状況と今後の見通しはどうか、伺います。

河川整備課長 石神川は、総合流域防災事業により、桑納川合流点から950メートルの整備を進めており、平成27年度末までに用地取得が完了したところですが、現在、最下流の橋梁架け替えに支障となる、工業用水の配水管の移設を行っています。

今後は、工業用水の配水管の移設完了後、橋梁架け替えを実施するとともに、下流側より河道の拡幅を進め、早期に治水効果の発現に努めてまいります。

●県政と八千代市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

**茂呂つよし 県事務所**

〒276-0046 八千代市大和田新田1092-7  
TEL047-480-0244 FAX047-458-7033

**要望** 道路事業と一体となつて、早期に進めていただきたい。



小規模事業者のための

# 「経営発達支援計画」策定を!

# 児童発達支援センターの運営

# 商工会議所に遅れ目立つ



予算委で質問する茂呂委員

## 最高1千万円補助

**茂呂委員** 国は、地域の身近な経済団体として、小規模事業者に対する経営相談や指導に取り組んできた商工会議所・商工会による経営支援機能の強化を図るため、商工会議所や商工会が作成する支援計画のうち、小規模事業者の経営の発達に特に資する計画を「経営発達支援計画」として、国が認定する制度を平

成26年度に創設するとともに、認定を受けた団体に対し最高1千万円の補助を行うこととしました。

昨年6月議会で、わが党の一般質問で「県内の商工会は、全40団体が経営発達支援計画の認定を受けているが、県内21の商工会議所については、未だ策定していない団体も多い」との県の答弁があったところです。そこで

伺います。県内の商工会議所の経営発達支援計画の取り組み状況はどうか。

**経済政策課長** 県内21商工会議所のうち、経営発達支援計画の認定を受けた団体は、千葉商工会議所など4団体、現在申請している団体が6団体、次回の公募に申請を予定している団体が3団体、未だ取り組みに着手できていない団体が8団体になっています。

## 取組みに差

**茂呂委員** 商工会に比べて、商工会議所で経営発達支援計画の策定や国の認定が遅れている理由は何か。

**経済政策課長** 県内の商工会に関しては、商工会連合会による商工会法に基づく指導もあつて、県内40の商工会を8ブロックにグループ化して申請したことが、早期の全団体認定につながったものと考えています。

一方、商工会議所については、各々の商工会議所の自主性・自立性が高く、経営発達支援計画への対応も、各団体がそれぞれの体制や実情に応じた対応を取っているた

め、取り組み状況に差が生じているものと考えられます。

## 優先的に採択

**茂呂委員** 県では経営発達支援計画の策定や認定を促進するために、どのように対応していくのか。

**経済政策課長** 県では、

# 発達障害の子供たち

**茂呂委員** 近年、さまざまな障害を持った子供や、いわゆる発達障害の子供たちが増えています。こうした子供たちに対し、できるだけ早い段階から適切なケアや訓練、療育を行うことが大切ですが、

障害を持った子供たちが増えている今、児童発達支援センターが十分対応できているのか、大変気になるところです。そこで、県内の

# 研修受講枠の拡大

**茂呂委員** さまざまな障害を持った子供たちに対してきめ細かいケアや訓練治

商工会・商工会議所等に対する「小規模事業者経営支援事業等補助金」で、小規模事業者に対するきめ細かい支援や地域経済の活性化に資する事業に係る提案型の制度を設けています。

この中で、経営発達支援計画の策定のための事業については、優先的に採択することとしており、支援計画の策定認定に至っていない団体については、積極的に活用していただきたいと考えています。

ンターなどの障害児を対象とした通所支援事業所には、人員配置の基準で児童発達支援管理責任者が二人以上必要とされています。

そのため、管理責任者になるためには、障害福祉サービス事業所等での実務経験に加え、県が実施する研修を受講しなければなりません。しかし、聞くところでは、県の研修は受講希望者が多く、希望者全員が受講できるわけではないとのこと。

そこで、児童発達支援管理責任者研修には応募者が多いと聞いていますが、受講枠は十分確保されているのか、伺います。

# 施設整備に財源を

**茂呂委員** 児童発達支援センターには、他の児童発達支援事業よりも多くの設備が必要と思われま

しかし、中には老朽化したり、児童数の増加に伴って手狭になり、新設や建て替えが必要な事業所も多いと聞きます。施設整備に当たつての財源措置は、どのように講じられているのか。

**障害福祉課長** 児童発達支援センターなど、障害児の福祉施設の整備に対する財源措置は、公立施設の場合、設置自治体の起債等により、民間施設の場合、民間補助により講じられています。

児童発達支援管理責任者研修は、応募者の増加に対応するため、平成27年度から開催回数を年2回に増やすなど、受講枠の拡大に努めております。

平成28年度には、募集定員220名に対し、389名の応募があったことから、応募者の事業所への配置見込み等を考慮し、273名の受講枠を確保したところ

現在勤めている児童発達支援管理責任者の交代などにより、新たな管理責任者が必要になる場合も多いと思

います。センターの円滑な運営に支障をきたさないよう、研修の受講枠をしっかりと確保していただくようお願いいたします。また、施設整備補助についても、しっかりと対応していただくよう要望します。

## 要望

事業所の新設や、



予算委の質疑風景での茂呂委員(右)